

種智院大學 同窓會報

第25号
平成11年10月25日
〒612-8156
京都市伏見区向島西定請70
種智院大学同窓会
TEL(075)604-5600 FAX(075)604-5610

平成11年度同窓会総会

日時 平成11年6月23日(水)午後2時30分開会
場所 種智院大学(向島キャンパス) 講義室401

物故者慰霊法要

開経偈 般若心経 御宝

号 廻向文

経頭 井上紀生大本山大覚寺元門跡
(昭16)

開会の辞 児玉義隆 同窓会事務局長

会長挨拶 池田登輝 同窓会会長

来賓祝辞 片山宥雄 真言宗京都学園理事長・大本山大覚寺門跡

学長挨拶 今井圓明 種智院大学学長

向島キャンパス建設・移転の経過報告の後、画家の松崎隆雄氏(昭22)より新キャンパス建設を記念して、油絵「室戸岬」が寄贈されたことの報告と謝意が述べられた。作品の披露と、手紙の紹介があり、漣沼雅春氏(昭23)より絵画製作の経緯と松崎氏の人柄の紹介があった。

座長選出 足立 有教 同窓会副会長
議 事

1, 平成10年度事業報告書(案)ならびに平成10年度決算書(案)承認の件 別紙資料①②により説明。併せて役員の変動が発表され、承認。(事務局)

2, 各支部活動報告の件 (事務局)

5月31日(月)大阪支部総会、7月6日(火)兵庫支部総会(予定)、7月7日(水)西中国支部総会(予定)、7月19日(月)京都支部総会(予定)の報告。(事務局)

3, その他 事務局員のうち、仏教福祉学コースの池田和彦助教授から芦田麗子助手(平8)に交替したことを報告。(事務局)

4, 平成11年度事業計画書(案)ならびに平成11年度予算書(案)承認の件 別紙資料③④により説明。(事務局)

5, 同窓会特別事業「種智院大学講堂の本尊及び仏具等寄付金」勧募状況の件 平成11年6月16日現在、申込数155件、申込金額7,170,000円、達成率は10.85%である旨、事務局より報告があり、今一度頑張って勧募に努めることで承認。

足立座長の閉会宣言をもって4時10分に総会を終了した。

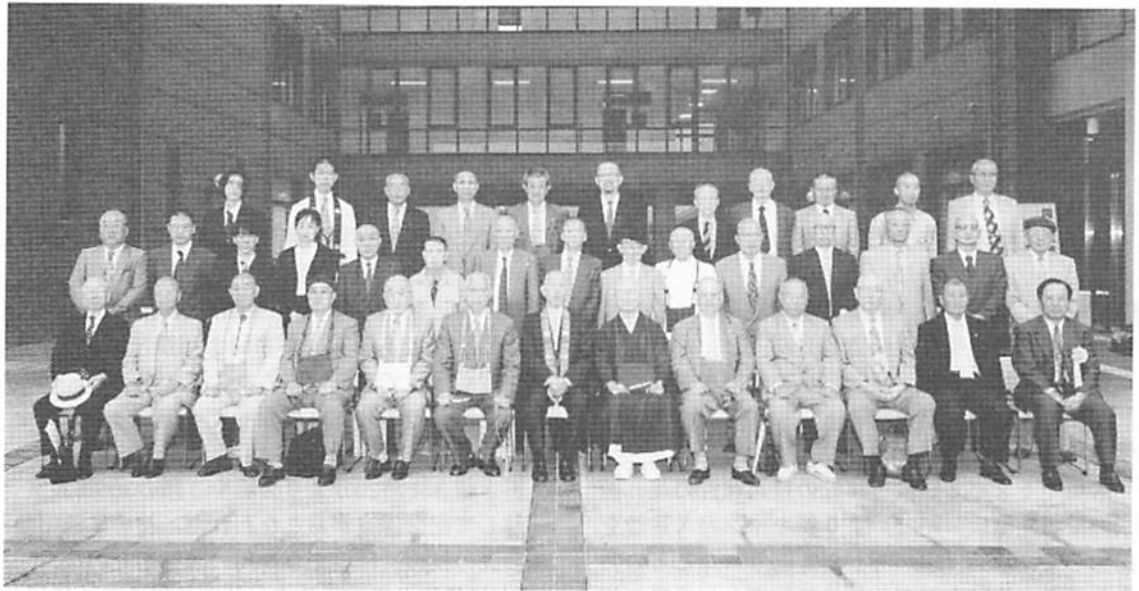
引き続き4時20分より会場を3階の306講義室に移して記念講演がおこなわれた。初めに池田登輝会長の挨拶に続いて事務局の講師紹介の後、MIKI建築設計事務所代表 井関幹雄氏の「種智院大学向島キャンパス完成への道のり」の演題のもと、映像を使って講演をいただき、5時15分に終了、正門前で記念撮影が行われた。

暫時休憩のあいだ、出席者は三々五々新キャンパスの中を見学してまわり、午後5時45分会場を体育館棟1階学生食堂に移し、懇親会を開催。今井浄圓講師の司会で、初めに池田会長の挨拶の後、川村泉涌寺長老の発声で乾杯し宴に移った。新しい校舎での感想を述べあいながら和やかに会が進み、最後に佐伯龍幸総本山西大寺執事長の挨拶をもって、7時15分歓談のうちに終了した。

総会出席者

多田隆信 (昭13)	井上紀生 (昭16)	安東法秀 (昭18)	高畑龍憲 (昭19)	片山宥雄 (昭19)
奥寺知光 (昭22)	江坂宗純 (昭22)	川村俊朝 (昭22)	寺河俊禎 (昭23)	手塚利貞 (昭23)
森 見章 (昭23)	藤井修一 (昭23)	蓮沼雅春 (昭23)	今井圓明 (昭24)	佐伯龍幸 (昭24)
山田達圓 (昭24)	神野龍幸 (昭24)	東田教範 (昭24)	生駒研性 (昭25)	石坪昭真 (昭25)
加門得勇 (昭28)	宮本成雄 (昭28)	足立有教 (昭28)	池田瑩輝 (昭28)	田井秀戒 (昭28)
住田行範 (昭30)	福嶋尊光 (昭30)	北村議臣 (昭30)	井上亮淳 (昭33)	北村太道 (昭36)
土屋博秀 (昭37)	玉久圭澄 (昭38)	嶋 裕海 (昭45)	菅 智潤 (昭47)	都筑大乘 (昭47)
玉山順彦 (昭55)	宮崎快堯 (昭56)	宇垣泰明 (昭57)	柳本宗孝 (昭57)	井村祐章 (昭58)
高田順仁 (昭58)	橋本江理子 (昭59)	沖津祐照 (平 2)	富田敦史 (平 4)	中江康明 (平 5)
芦田麗子 (平 8)	石山陽圓 (平 8)	粟崎昭宏 (平10)	清水明宏 (平10)	高橋徹也 (平10)
福本智江 (平10)	米田雅一 (平10)	上田弘幸 (平11)	平野将則 (平11)	稲塚信海 (準)
今井淨圓 (賛助)	児玉義隆 (賛助)	鳥越正道 (賛助)	野口圭也 (賛助)	

(敬称略)



別紙資料①

種智院大学同窓会平成10年度事業報告書

- (1) 名簿作成編集委員会
反省会
日 時：平成10年 5月 6日(水)午後 6時
場 所：東天紅(新京都センタービル店)
- (2) 幹事会
日 時：平成10年 6月10日(水)午前11時
場 所：種智院大学会議室
- (3) 総会並びに物故者慰霊法要・記念講演
日 時：平成10年 6月10日(水)午後 2時
会 場：種智院大学講堂
記念講演：「ロシア人の見た日本文化」
講師 在大阪ロシア連邦総領事館総領事
ゲオルギー・E. コマロフスキー氏
- (4) 懇親会
日 時：平成10年 6月10日(水)午後 6時
会 場：ホテルグランヴィア京都
- (5) 臨時幹事会
日 時：平成10年12月 2日(水)午前11時30分
会 場：福幸
- (6) 特別委員会
日 時：平成11年 1月22日(金)午前11時
会 場：種智院大学会議室
- (7) 会報の発行
第24号 平成10年12月25日
- (8) 卒業生への記念品贈呈
平成11年 3月15日(月)
記 念 品：同窓会会員名簿

別紙資料②

種智院大学同窓会 平成10年度決算書

収入の部

(単位：円)

		平成10年度予算		平成10年度決算	
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
会 費	4,410,000	終身会費@20,000×220 年会費@2,000×5	会 費	6,922,000	終身会費@20,000×346 年会費@2,000×1
懇 親 会 費	450,000	@10,000×45名	懇 親 会 費	450,000	@10,000×45名
受取利息配当金	203,000	定期預金(200,000)郵便貯金・普通預金(3,000)	受取利息配当金	774,726	定期預金・郵便貯金・普通預金等
雑 収 入 金	200,000	名簿代・広告代、総会・懇親会等お祝い、写真代	雑 収 入 金	119,020	お祝金、広告料、名簿代、寄付金
			寄 付 金	2,060,000	勸募 56名分
前年度より繰越	15,604,175		前年度より繰越	15,604,175	
計	20,867,175		計	25,929,921	

支出の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
人 件 費	100,000	アルバイト費	人 件 費	24,400	総会アルバイト分・記念講演要約作業等
総 会 諸 費	300,000	総会諸費用(200,000)、講演料(100,000)	総 会 諸 費	308,668	講演料、テープ起債、総会諸費用、タクシー移動
懇 親 会 費	450,000	@10,000×45名	懇 親 会 費	450,000	懇親会費
消 耗 品 費	30,000	事務用品、コピー代等	消 耗 品 費	0	
印 刷 製 本 費	750,000	会報2回分、ハガキ等	印 刷 製 本 費	454,107	会報等業者委託
通 信 費	300,000	会報発送費、案内状送付切手代	通 信 費	266,410	総会・特別委員会案内、出欠ハガキ、切手代等
会 議 費	160,000	幹事会等	会 議 費	198,322	幹事会・特別委員会等
慶 弔 費	100,000	支部総会お祝い金、慶弔電報処理費	慶 弔 費	240,343	慶弔73,593円 弔事166,750円
旅 費 交 通 費	100,000		旅 費 交 通 費	144,650	懇親会場タクシー移動代、弔事に伴う交通費
雑 費	10,000		雑 費	10,785	振込手数料、郵便振替払出料金
次年度へ繰越	18,567,175		次年度へ繰越	23,832,236	
計	20,867,175		計	25,929,921	

同窓会の平成10年度の会計が正確に行われていることを認める。 監査人 氏名 川崎 龍 性 ㊦
平成11年 6月23日 氏名 加門 得 勇 ㊦

別紙資料③

❖❖❖❖❖❖❖❖❖ 種智院大学同窓会平成11年度事業計画書 ❖❖❖❖❖❖❖❖❖

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 臨時幹事会
日 時：平成11年5月11日(月)午後2時
場 所：種智院大学第1会議室</p> <p>(2) 幹事会
日 時：平成11年6月23日(水)午前11時
場 所：種智院大学第2会議室</p> <p>(3) 総会並びに物故者慰霊法要
日 時：平成11年6月23日(水)午後2時30分
会 場：種智院大学講義室401</p> <p>(4) 記念講演
日 時：平成11年6月23日(水)午後3時30分
会 場：種智院大学講義室204
演 題：「種智院大学向島キャンパス完成への道のり」
講 師：M I K I 建築設計事務所
代表取締役 井関幹雄氏</p> | <p>(5) 懇親会
日 時：平成11年6月23日(水)午後6時
会 場：種智院大学体育館棟1階食堂</p> <p>(6) 特別委員会
日 時：平成11年7月中旬ごろ
会 場：種智院大学会議室(詳細未定)</p> <p>(7) 会報の発行
特別号 平成11年5月25日
第25号 平成11年10月中旬頃(予定)
第26号 平成12年2月下旬頃(予定)</p> <p>(8) 卒業生への記念品贈呈
平成12年3月15日(水)
記念品：同窓会会員名簿</p> |
|--|---|

別紙資料④

種智院大学同窓会 平成11年度予算書

収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
会 費	4,410,000	終身会費@20,000×220 年会費@2,000×5
懇 親 会 費	600,000	@10,000×60名
受取利息配当金	710,000	定期預金(700,000) 郵便貯金・普通預金(10,000)
雑 収 入 金	100,000	名簿代、総会・懇親会等お祝い
寄 付 金	17,940,000	勧募
前年度より繰越	23,832,236	
計	47,592,236	

支出の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
人 件 費	100,000	アルバイト費
総 会 諸 費	500,000	総会諸費用(400,000)、講演料(100,000)
懇 親 会 費	600,000	@10,000×60名
消 耗 品 費	130,000	事務用品、コピー代、会計ソフト代
印 刷 製 本 費	800,000	会報3回分、ハガキ等
通 信 費	450,000	会報発送費、案内状送付切手代
会 議 費	300,000	幹事会等
慶 弔 費	300,000	支部総会お祝い金、慶弔電報処理費
旅 費 交 通 費	400,000	
雑 費	30,000	
寄 付 金	20,000,000	種智院大学講堂の本尊及び仏具等寄付金
次年度へ繰越	23,982,236	
計	47,592,236	

◆◆ 支部活動報告 ◆◆

◆◆ 大阪支部

平成11年5月31日午後7時より大阪市北区の「やしき」において、平成11年度支部総会を開催した。事務局より開会を宣言。佐野支部長の挨拶の後、池田登輝同窓会会長の挨拶、土屋師を議長に議事にはいる。①平成10年度活動報告。②平成10年度会計報告・監査報告。③平成11年度活動・予算について報告と計画・算定がなされ、全て了承された。④バインダー式会員名簿の作成については発足10周年記念として配布する。毎年度差し込みすることにより事務局の負担軽減が可能との報告があり了承。⑤大学ご本尊寄進については本部事務局の都筑師が現状を報告し、母校発展・学生指導と育成のため支部として全面協力することで了承。⑥役員改選は名簿作成の仕事もあり留任。⑦その他として他の支部との交流、新卒業生への会費半額等の意見が出され有意義の中で終了した。その後懇親会に入り、学生時代の思い出に花が咲き、大いに楽しんだことであった。

出席者は下記の通り。(敬称略)

池田登輝	都筑大乗	芦田麗子	佐野剛空
西端良諦	蓮沼雅春	藤崎信幸	土屋博秀
玉山順彦	武村尚史	見城雅俊	西田義範
藤崎孝之	西端良弘	森 全啓	中江康明
石山陽律	藤崎真吾		

◆◆ 兵庫支部

兵庫支部総会は、平成11年7月6日(火)午後2時より神戸市中央区神戸駅前の「天安閣」において開催された。

久びさの支部総会とあって、平日の午後であるにもかかわらず、多数の会員が集まり本部事務局からは大学の宇垣職員が出席した。

まず、支部長の水谷修夫師の挨拶と同窓会長の池田登輝師の挨拶があり、今回の総会の幹事をされた足立有教師より支部総会開催についての経緯と、会計も水谷支部長から足立師に引継ぎされた旨の報告があった。引き続き支部の会員名簿について、物故者や転居しているにもかかわらず掲載されていることについて質疑があり、本部事務局より会員の異動については、本人なり周囲からの連絡に頼っているので、今後できるだけ把握する

ように努めたい。また、支部からもどんどん連絡してほしいと回答があった。さらに母校種智院大学の新講堂本尊寄贈の勧募状況については、兵庫支部は他の地区と比較すると優秀な方だが、全体の目標額にはまだまだなので、今後一層支部としても勧募活動を進めることが確認された。席上、現在まで礼状と領収書を発行していないが、やはり礼儀上からも入金者に対して発行すべきであるという意見が出され、本部で検討してもらうことになった。

また、支部活動をより進めるために兵庫県を大きく四つの区画に分け、それぞれの地区から支部の幹事を出して会員との連絡を密にするようにする。総会も、年に一度ぐらいではなく、集まりやすいような日時を設定し、場所も神戸に限定しないで、たとえば温泉に行くなどの企画をたて、より親睦を深めるようにしてはどうかという意見があり、前向きに検討することになった。さらに、これとは別に2~30代の若手会員を中心にした青年部も設け、こちらは例えば週末の夜にでも集まるようにする方向で計画を進めて行くことになった。

以上の通り、有意義な意見が交換され、支部総会を終えた。

続いて懇親会に移り、中華料理を堪能しつつ久方ぶりの先輩後輩との会合に話の花が咲き、午後6時盛会のうちにお開きとなった。

出席者は下記のとおり。(敬称略)

井上紀生	水谷修夫	手塚利貞	森 見章
中定三郎	池田登輝	足立有教	加門得勇
高松龍暉	北村祐道	島田大観	宇垣泰明

◆◆ 西中国支部

平成11年7月7日午後2時から広島市「ホテルグランヴィア広島」にて、平成11年度支部総会を開催した。福島支部長の開会挨拶の後、池田登輝同窓会会長の挨拶、今井圓明学長の挨拶が終わり議題に入った。①役員改選については、若い方にやってもらうことで了承。2~3名の名前が挙がったが結論は出なかった。②勧募については本部事務局の都筑師が西中国支部の入金状況を説明し、全面協力することで了承した。③その他に関しては、活発なる意見が出され、多田副支部長の

挨拶にて閉会した。続いて懇親会に移り、さらなる支部の発展の為に話しが大いに盛り上がり、次年度の再開を約束し和気藹々の内に終了した。

出席者は下記の通り。(敬称略)

今井圓明	池田登輝	足立有教	都筑大乘
福岡尊光	多田隆信	江坂宗純	東田教範
藤原豊善	蛸田真慧	吉武裕真	

◆香川支部

平成11年7月8日午後4時より総本山善通寺の応接室において、平成11年度支部総会を開催した。事務局の菅師より開会を宣言し高吉支部長の挨拶の後、池田登輝同窓会会長の挨拶、今井圓明学長の挨拶があり議題に移った。①新キャンパス講堂の本尊及び仏具寄贈については、本部事務局の都筑師が、全国と香川の勧募入金状況の説明を行なった。大学の発展と後輩への育成のために支部として全力投球することを全員確認し、勧募活動を積極的に進めることで了承した。②大学の現状及び今後の課題については、今井学長が現況報告と今後の大学の抱負を述べられた。③香川支部長の選任については、高吉支部長から次期支部長には、国分寺住職の大塚聖純師を推薦され全員一致で了承した。④その他として、総会出席者の参加減少についての意見がだされ、今後の課題とすることで了承した。

その後場所を「采を里」に移し、懇親会を開催。料理を堪能しつつ話の花が咲いたことであった。出席者は下記の通り。(敬称略)

今井圓明	池田登輝	足立有教	都筑大乘
高吉清順	加藤義昭	大門正道	大林教善
菅智潤	長谷川恵淳		

◆京都支部

(総会)

平成11年7月19日午前11時、京都の新・都ホテル地階「四川」において、平成11年度支部総会を開催した。事務局の都筑師が開会を宣言した後、川崎支部長の挨拶、池田同窓会会長の挨拶と続き、協議に入った。①平成11年度予算書(案)が計上され、慎重審議の結果了承された。②同窓会特別事業「種智院大学講堂の本尊及び仏具等寄付金」勧募状況について、本部事務局より資料を持って説明があり、全会員からの入金状況と京都支部の

達成率等の検討に入り、支部会員に広く勧募を呼びかけていくことで了承した。③京都支部役員並びに規約改正については、役員の中で故人となられた方もおられ、全面的に若返りをはかることで見直しを行い、役員会において検討していくことで了承した。その後懇親会に入り、中華料理を戴きながら今後の支部活動の事業計画等話があり、和気藹々の内に終了した。

出席者は下記の通り。

池田登輝	足立有教	川崎龍性	山田達圓
石坪昭真	井上亮淳	嶋裕海	都筑大乘

(役員会)

平成11年9月24日午後5時より「木のぶ」において、京都支部の役員会を開催した。去る7月19日の総会で検討課題となっていた役員人事選定について討議し、下記の通り新役員を選出した。

出席者は下記の通り。

川崎龍性	宝山真海	嶋裕海	都筑大乘
------	------	-----	------

京都支部新役員

支部長	川崎龍性(昭24)
副支部長	北部 石坪昭真(昭25)
	中部 嶋裕海(昭45)
	南部 宝山真海(昭35)
常任幹事	都筑大乘(昭47)
	宇垣泰明(昭57)
	沖津祐照(平2)
監事	藤井向妙(昭41)
	鳥越英徳(昭49)
幹事	丹後地区 秦祐智(昭23)
	中丹地区 本田隆保(昭23)
	南丹地区 都筑大乘(昭47)
	市内北・上・左地区 松田亮如(昭23)
	市内右・西京地区 生石和宏(昭51)
	市内下・南地区 沖津祐照(平2)
	市内東山・中京地区 渡辺恭章(昭63)
	市内伏見・山科地区 上原雅明(昭54)
	府南部地区 宇垣泰明(昭57)



同窓会会員異動

〇真言宗京都学園理事長に片山宥雄師

大覚寺門跡の片山宥雄大僧正（昭19）は、平成11年2月11日付をもって真言宗京都学園理事長に就任された。同学園は、母校種智院大学の経営母体であるが、前理事長の吉田裕信師が平成10年12月3日遷化されたことから、平成11年2月10日に後任理事長選定の理事・評議員会を開催し、協議の結果、満場一致で片山師が選定された。任期は平成11年11月4日まで。

また、この片山宥雄新理事長と、同時に選定された洛南高等学校・同附属中学校校長に後藤善猛師の就任を祝い、理事長・校長就任祝賀会が、平成11年7月13日（火）午後6時より京都国際ホテル扇の間において、学園関係者ら約200名出席のもと開かれた。

最初に発起人を代表して、高吉清順総本山普通寺法主（昭19）が挨拶。引き続き片山理事長、後藤校長の挨拶があり、荒巻京都府知事（代説）、榊本京都市長（代説）、奥山衆議院議員の祝辞の後、全日本仏教会会長・濱野堅照長谷寺化主の発声で乾杯。祝宴に入り川村俊朝泉涌寺長老（昭22）、平岡清風学園理事長の祝辞に続いて、祝電の披露、清興として琴・三弦・胡弓の演奏等があり、今井圓明種智院大学長（昭24）の謝辞をもって、8時30分に終了した。

[同窓会関係の主な出席者]

高吉清順（昭19） 川村俊朝（昭22） 法本弘文（昭23） 今井圓明（昭24） 東田教範（昭24） 生駒研性（昭25） 石坪昭真（昭25） 井上亮淳（昭33） 沖田定信（昭35） 宝山真海（昭35） 北村太道（昭36） 宮地甫光（昭34） 岡崎厚道（昭38） 玉久圭澄（昭38） 天野明雄（昭40） 嶋 裕海（昭45） 大林教善（昭47） 都筑大乗（昭47） 池田光輝（昭51） 鷲尾遍陸（昭53） 北尾隆心（昭56） 宇垣泰明（昭57） 沖津祐照（平2） 今井淨圓（賛助） 亀谷和雄（賛助） 児玉義隆（賛助） 田中真瑞（賛助） 頼富本宏（賛助）

〇随心院門跡に高吉清順大僧正、同寺務長に亀谷和雄師

真言宗普通寺派管長・総本山普通寺法主高吉清順大僧正（昭19）は、蓮生善隆門跡と市橋真明寺務長（昭25）の退任にともない、12月1日付を以て京都市山科区小野御霊町35の大本山随心院第40世門跡に、また後任の寺務長には、亀谷和雄師（賛助）が併せて就任された。

入山式は2月26日（金）、随心院において厳かに執行された。亀谷寺務長、榎原普通寺宗務総長等の出迎えの中、10時30分、上原雅明執事（昭54）引頭により職衆とともに高吉門跡が到着、午前11時に本堂入堂、ただちに授与式に入り、寺務長より五鈷杵と念珠が新門跡に伝えられた後、登礼盤、奉告法要に移り、法燈継承を本尊に表白された。法要後、式に移り、高吉門跡が挨拶、来賓の水谷修夫宗会議長より祝辞、亀谷寺務長の謝辞をもって入山式を無事成満した。

大玄関前で記念撮影後、本坊能の間において祝宴に移り、上原執事の司会で和気あいの内に進められた。

[入山式出席の主な同窓会関係者]

水谷修夫（昭17） 小笹憲雅（昭24） 大林教善（昭47） 菅 智潤（昭47） 上原雅明（昭54） 亀谷和雄（賛助）

〇高吉清順師略歴

総本山普通寺第56世法主、真言宗普通寺派管長、香川県普通寺市吉原町1380-1 別格本山曼荼羅寺住職。大正14年1月1日生。昭和19年京都専門学校卒、31年曼荼羅寺住職。48年普通寺執行・普通寺派庶務部長、平成6年執行長・宗務総長。平成8年3月1日法主・管長就任。地域においては吉原教育振興会副会長、社会福祉法人讃岐学園評議員、四国霊場会本部理事等を歴任。大僧正

〇亀谷和雄師略歴

京都市上京区出水通千本西入ル七番町323-1 福勝寺住職。昭和5年12月25日生。昭和33年福勝寺住職、45年普通寺法務部長、社会部長。50年から平成8年まで普通寺派宗議会議員。権大僧正。

〇真言宗東寺派管長に峯孝雅師選出

真言宗東寺派では、藤田研道管長の任期満了と、北川亮暁宗務長の遷化により動向が注目されていたが、9月14日（火）京都センチュリーホテルで

第74次臨時宗会を開催し、満場一致で議長の峯孝雅権大僧正(昭35)を新管長に選出した。峯師は即日管長に就任し、宗務長以下の内局を決定した。管長の任期は6年。

○峯 孝雅師略歴

神奈川県小田原市飯泉1143勝福寺住職。昭和12年7月31日神奈川県生。昭和29年8月勝福寺道場において峯堅雅師戒師により得度、32年教王護国寺道場において木村澄覚阿闍梨・児玉雪玄阿闍梨に従い加行成満、醍醐寺道場において岡田戒玉阿闍梨により伝法灌頂入壇了。35年3月種智院大学仏教学部卒業。36年神奈川県南蔵寺住職。47年神奈川県勝福寺住職。47年2月真言宗東寺派神奈川宗務支所長・宗会議員。平成3年10月宗会副議長。6年10月宗会議長。9年6月神奈川県大和講本部長。9年11月宗会議長再任。

□高井隆秀名誉教授遷化



母校種智院大学で多年に渡って教鞭を執り、教授、学部長として後進の指導にあたり、現在は名誉教授の、京都市北区紫野十二坊町33-1の真言宗智山派前管長・総本山智積院第66世化主、全日本仏教会前会長で上品蓮台寺前住職の高井隆秀大僧正は去る5月18日午後2時48分、世寿84歳をもって遷化された。哀悼。

葬儀は6月7日午前10時より京都市東山区東大路通七条下ルの総本山智積院本堂において、川崎大師平間寺貫首の高橋隆天大僧正導師のもと営まれ参香者多数で盛儀であった。

故大僧正は、智積院55世化主高井親海大僧正の長男として大正5年3月31日生。昭和9年9月12日師父高井親海和上戒師により得度。11年4月1日宝幢院道場において川崎弁龍大阿闍梨に従い幸心流により四度加行成満。12年3月27日齋藤隆現大僧正に従い伝法灌頂入壇。16年智山専門学校(現大正大学)を卒業。その後、名師に随い練行等修学して、本学においては、昭和22年4月1日京都専門学校講師として着任。24年4月1日種智院大学助教授。35年3月25日教授。39年10月6日種智院大学密教学会委員長。50年11月1日仏教学部長。定年により平成3年3月31日退任。平成4年4月1日名誉教授。本学以外の教育関係では、

大正大学大学院講師、花園大学講師、仁和密教学院講師、日本密教学会会長、日本仏教学会理事等を勤められた。

一方宗門にあつては、昭和22年上品蓮台寺住職に晋住。京阪教区長を始め責任役員、菩提院結衆、教学財団理事長、教学部長、智山専修学院副院長、集議、御遠忌奉修局顧問、宗機顧問など要職を歴任。平成5年10月より9年10月まで智山派管長・総本山智積院化主。平成6年より全日本仏教会会長も務められた。密教学・密教思想史の研究に、また師弟教育にと尽力され、多年にわたり智山派の護持・教学・社会・総本山・護法各功労賞・密教学芸賞を受賞。

さらに社会に在つては、京都市社会福祉協議会会長、京都老人ホーム理事長、京都北ロータリークラブ会長、全日本民生児童委員協議会副会長等社会福祉に理解を示し社会に貢献せられ、藍綬褒賞・勲四等旭日小綬章・厚生大臣表彰等受賞されている。

また、9月16日に宗団での追悼法要が智積院本堂において、近藤化主導師のもと午前10時50分に執行され、各山及び隣山重役、智山派関係者、故人の遺族、遺弟、法類、壇信徒ら約500名参列し遺徳を偲んだ。午後1時からパークホテルに場所を変えて御斎の供養があり、終日隆秀和上の人柄を偲んだ。

□後七日御修法厳修

平成11年己卯歳の後七日御修法は、1月8日より14日まで東寺灌頂院道場において西院流能禪方胎藏界咒立で奉修された。同窓会・本学関係からは池田瑩輝会長が咒頭を勤められるなど、多数出仕して厳寒の中おごそかに勤修された。同窓会関係の主な出仕者各師及び配役等は、下記のとおり。

供僧配役

御手替	醍醐寺座主	麻生文雄 (前学長・名誉教授)
咒頭	中山寺長老	池田瑩輝(昭28)
五大尊	大覚寺門跡	片山宥雄(昭19)
十二天	善通寺法主	高吉清順(昭19)
舍利守	泉涌寺長老	川村俊朝(昭22)
息災	西大寺	谷口光明(昭24)
伴僧	泉涌寺	藤田俊教(賛助)

定額僧（供僧出仕者以外）

- （勸修寺）筑波常遍（昭33）
 （西大寺）須方智證（準）
 （教王護国寺）鷲尾隆輝（元学長）
 （清澄寺）坂本光謙（準）

承 仕

- （智積院）田中悠文（昭63）
 （西大寺）須方審證（平7）

随 行

- （大覚寺）岸本隆雄（平7）
 （醍醐寺）渡辺慧海（平6）
 （中山寺）南 本源（昭60）
 （西大寺）須方審證（平7）
 （泉涌寺）文栄本照（平11）

□ 所久雄先生と平成8年卒業生の親睦会

去る9月11～12日、仏教福祉学コースの平成8年卒業生が所久雄先生を囲む同窓会を開きました。場所は福井県敦賀市です。京都駅に集合してJRを使って行きました。参加者のなかには卒業以来初めて会う人もいて、電車の中では、少しぎこちなさもありました。せっかく敦賀まで来たのだから、気比松原の浜辺を散策しようと言うことになり、すごくいい天気だったので、みんなで裸足になって海につかったりして、このころには、みんな学生時代に戻ったようでした。一足おくれたきた所先生と一緒に送迎バスでホテルに到着した後は、テニスで楽しみました。所先生は以前テニスをやられていたということで、コーチをしてもらい、みんな汗だくになってコートを走り回りました。大浴場で汗をながし、夕食をとりながら、それぞれの近況を語りました。その後、部屋にみんな集まって、日付が変わるまでトランプで盛り上がりました。トランプが終了した後も、何人かは残り、仕事のことなどの悩みを午前3時ごろまで語り合いました。翌日、午前中に敦賀を出発し、京都駅で昼食をとって解散しました。

（芦田麗子記）



参加者：所 久雄 石戸秀和 植村隆弘 大槻達哉 高島秀彰 農澤一郎 美藤貴弘 芦田麗子（敬称略）

□ 長谷法寿師出版並びに同祝賀会

本学卒業生で仏師の長谷法寿師（昭55）は、これまでに造像された仏像の一部を、写真家の室田康雄氏撮影により『賢劫の千仏—いまめくみほとけ』（長谷法寿佛像集Ⅰ）として出版された。

長谷師は、若手ながら現代の斯界の第一人者と評されており、同窓会でも母校向島キャンパスの講堂本尊の大日如來の造仏をお願いしている。知的で端正な相貌の大日如來、ふくよかで母性の温かみを感じさせる摩耶夫人等々、その尊の性格をよく表しておりながらも、どの仏像の視線も拝む者に対して慈悲に満ちている。

普通の彫刻とは異なり、ただ見られるのではなく、信仰心をもって礼拝される仏像は、ただ技巧の巧拙のみで語ることはできないものであろう。その点、長谷師は周知の如く、本学を卒業後、高野山専修学院に進み四度加行を成満、伝法灌頂に入壇された。その後、松久朋琳氏の内弟子となり、成田山新勝寺大塔の五大尊造像に参加するなど修業研鑽を重ねられた。摩耶山天上寺の造像依頼を機に独立、大乘寺造仏所を経て賢劫造仏所を自ら主宰し、その間には天上寺の諸尊をはじめ、高野山西塔大日如來、大本山中山寺の諸尊等、各寺院の仏像制作・修理に携わってきた。今回はそれらの諸像のうちから25箇寺に奉納した63体（含荒彫）を収載している。

この仏像を、室田氏が柔らかな照明を当て、敬



虔な視線で捉えているのもすばらしい。いわゆる美術全集のような古色然とした仏像ではなく、新作の極彩色の仏像の魅力に感動したと、自ら語る室田氏ならではの写真である。

本書は、卓抜な技術を備え、儀軌を熟知し、なおかつ自ら行を修した経験で仏像を刻みだす阿闍梨仏師と、豊かな経験を生かし、被写体の魅力を遺憾なくフィルムの上に再現する名写真家との出会いによる珠玉の結晶ということができようか。

なお、副題には「長谷法寿佛像集Ⅰ」とあるので、ぜひとも続編の出ることをさらに期待したい。(東方出版、5,000円+税)

平成11年10月4日(月)午後5時30分、京都八坂長楽館で前述の長谷法寿師の「賢劫の千仏-いまめくみほとけ」の出版を記念して賢劫造仏所主催の祝賀会が開かれた。

長谷師が仏像を奉納した縁故寺院のうち、写真が掲載された25カ寺を中心に、大本山中山寺、大本山石山寺、摩耶山天上寺、その他写真・出版関係者等約70名出席のもと、吉田大治(昭60)氏の司会により会が進められ、田村隆照京都市立芸術大学名誉教授、村主康瑞中山寺長老の賀詞の後、池田登輝中山寺元長老・種智院大学同窓会会長の発声により乾杯。以後順次祝辞を述べ、仏像を撮影した写真家の室田康雄氏と長谷法寿師の挨拶があり、盛会の裡にお開きとなった。

当日主な同窓会関係者は以下のとおり。

池田登輝(昭28) 足立有教(昭28) 都筑大乗(昭47) 鷺尾遍隆(昭53) 宇垣泰明(昭55) 橋本江理子(昭59) 吉田大治(昭60) 頼富本宏(賛助) 児玉義隆(賛助) 宮城洋一郎(賛助) 今井浄圓(賛助)(敬称略)

なお、これに合わせて9月22日(水)より10月5日(火)まで京都市東山区四条通花見小路東の「ぎやらりい西利」において「賢劫の千仏-いまめくみほとけ」写真展・賢劫造仏所仏画展が開催された。会期中、約630名の来場者があり、深遠な仏像の美を堪能していた。

☐中陰表作成用その他パソコンソフト

種智院大学卒業生で、KBS京都放送などを中心にタレント活動をし、また司会等でも活躍している吉田大治師(芸名:大石こいし・昭60)は、簡単な操作で中陰表を作ることができるパーソナルコンピュータ用ソフト「中陰表」や、子供の出産予定日を計算する「このとりの訪問予定日」、日付や日数等を電卓感覚で計算できる「暦電カルク」を開発した。

特に「中陰表」は、現在バージョン2.2で、順次改訂してより利用しやすいうようになっており、従来、中陰表は早見表等を操って計算していたものが、このソフトを使えば、命日を入力するだけで初七日から満中陰、百箇日までの日付を自動的に計算して、綺麗な表形式で印刷することもできる。戒名の表示は天蓋・蓮台付きでも、長方形枠表示でもいずれでも可能であり、また日付は正日と連夜を選択することができ、寺院名の入力、表題の変更等も可能なので、大変便利である。

「このとりの訪問予定日」と「暦電カルク」も、同様に年月日を入力するだけで必要な日付を算出することができるソフトで、使いやすいうに設計されている。

これらのソフトの使用環境は、Windows95、98、NTの搭載されているパソコンならば、いずれの機種でも問題はない。

「このとりの訪問予定日」と「暦電カルク」は無料だが、「中陰表」は、シェアウェア(試験的に使用してみて気に入ればライセンス料を送金するもの)で、ライセンス料は2,000円。ただし、印刷機能の必要がなければ計算機能等は無料。入手方法は、吉田師のインターネットのホームページからダウンロードできる。ホームページアドレスは、<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/daiji/>または「ベクターソフトウェアライブラリ」からも可能。<http://www.bector.co.jp/>

[連絡先]

〒616-8274 京都市右京区梅ヶ畑上ノ町3 往生院
Tel 075-871-4390

学内記事

☑第47回卒業証書・学位記授与式

種智院大学では、平成11年3月15日(月)午前10時より、第47回卒業証書・学位記授与式を挙行了。この卒業式は、東寺学舎における最後の式典となる。当日は、午前10時より3階堂で開式。教務部長野口圭也助教授の司会で進行し、宗教部長山崎泰廣教授の発音により御法楽。仏教学部長北村太道教授がコース別に卒業生107名の名前を呼び上げられ、今井圓明学長より各コースごとの

代表者に卒業証書・学位記が授与された。これに続いて北村学部長より学業賞、論文賞、六大新報社賞、高野山出版社賞の賞典が授与された。今井学長の告辞では、「この学舎でおこなう卒業式はこれが最後で、この種智院大学が東寺の境内に設置され50年になり、それ以前の総費からは118年になる長い歴史の変遷に感無量。卒業生の皆には菩提の心、よき友、共生の三点の言葉を送りたい。多幸を祈る」旨が述べられ、北村教授による来賓紹介の後、来賓代表の真言宗京都学園理事長片山宥雄大覚寺門跡より祝辞があり、入試部長吉田元教授祝電披露、在学生代表として学生自治会長友繁二郎くんより送辞があり、弘法大師御宝号、司会野口教授の閉会の辞を以て終了した。

この後、午後1時30分より、ホテルグランヴィア京都5階「竹取の間」において謝恩会があり、卒業生たちは、お世話になった恩師や、しばらくは離れてしまう友人たちと歓談の中に別れの情を惜んでいた。

学業賞（副賞：鼎龍晚賞）

天羽理世、瓦家敏彦、木村英智

論文賞（副賞：信貴山玉蔵院賞）

池谷雅典、大島昌子、岡田基央、小坂田隆英、高尾文子、平井みつよ、布施優子、和田理

六大新報社賞

今村明希子

高野山出版社賞

星 理恵

☒第51回入学宣誓式

母校種智院大学では、平成11年4月10日（土）午前10時より、第51回入学宣誓式を挙行了。この入学宣誓式は、向島キャンパスにおける最初の式典である。当日は生憎の空模様であったが、爛漫の桜花の中、仏教学科93名、仏教福祉学科115名の新入生を迎えて、午前10時より新講堂兼体育館で開式。入試部長吉田元教授の司会で進行し、宮本輝紀洛南高等学校教諭の伴奏による川西裕明教諭の三帰依文・四弘誓願に続いて宗教部長山崎泰廣教授の発音により御法楽。教務部長野口圭也助教授が新入生の名前を呼び上げ、今井圓明学長により新入生の入学許可が宣せられた。これに続いて今井学長より、真言密教の教理に基づき構想された新校舎の概要と、「明確な志を立て、四天王の御誓願を心として学問を修め、良き師・友

人・趣味等を熟慮して選択し、悔いのない人生にしてほしい」と学長告辞があり、来賓を代表して洛南高等学校・同附属中学校長後藤善猛校長より祝辞があり、野口助教授による来賓紹介、学生部長宮崎隆太郎教授の祝電披露のあと、在学生代表として学生自治会長星芳孝くんより歓迎の辞があり、新入生代表青木重憲くんの宣誓がおこなわれた。川西・宮本両教諭による種智院大学学生歌の後、弘法大師御宝号、仏教学部長北村太道教授による専任教員の紹介があり、司会吉田教授の閉会の辞を以て終了した。

この後、新入生たちは4台のバスに分乗し、宗教部オリエンテーションとして嵯峨大覚寺、御室仁和寺を訪れた。両山では、心温まるもてなしを受け、春の京都を満喫しつつ夕方解散した。

☒平成11年度学園得度

平成11年7月3日（土）午前9時30分より401講義室において、今井圓明学長戒師のもと、宗教部教職員職衆により挙行された。本年度より学園得度式も向島キャンパスにおいて執行することとなったため、道場名を「種智院道場」と変更された。式は滞りなく進められ、午前11時戒師より訓戒を賜り、受者代表のお礼の言葉をもって得度式は無事成満した。11時30分より正門前で戒師、受者、職衆、参列者一同で撮影、12時より第1会議室において「泉仙」の精進料理による祝宴が催された。席上、戒師を勧められた学長より受者に対して挨拶があり、職衆の宗教部の各先生がたより祝辞をいただき、受者にはそれぞれに得度の抱負を語った。また、記念品として学長が弘法大師の詞を揮毫した朱扇が配られ、和やかなうちに祝膳を終えた。

【受者氏名：（ ）内は僧名と師僧】

江頭隆光（隆光・江頭寛弘）、大節昌史（昌法・法本弘文）、桑田英明（英照・桑田智照）、杉本裕崇（崇瑞・杉本积道瑞）、於保朋宏（法秀・田中秀明）、岩田隆司（隆海・福岡徹明）、塚原・恵（恵泉・後藤龍寿）、森田陽介（陽圓・今井圓明）、吉川貴光（貴勝・今井圓明）、片山慶太（侑慶・大本弘章）、天野真弓（景真・宝山真海）、片桐徳子（徳照・片桐隆識）、藤田志保（志操・藤田俊幸）、小田圭一（地弘・山崎泰廣）

☒山崎泰廣教授古希記念論集『密教と諸文化の交流』上梓

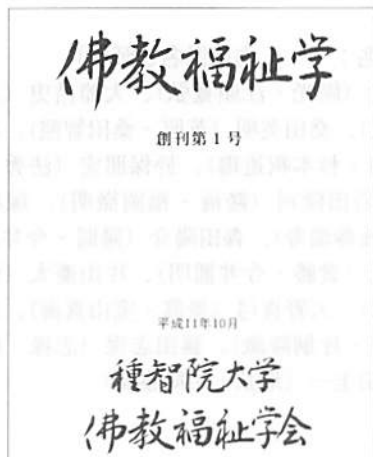
母校種智院大学密教学会では、教授の山崎泰廣教授が本年古希を迎えるのを記念し、記念論文集『密教と諸文化の交流』をこの度上梓した。山崎教授は、昭和34年4月に本学奉職以来、40年の永きにわたって教鞭をとってこられた。専門は真言宗の事教二相にわたり特に密教瞑想を研究されている。昭和47年教授に昇任後は、宗教部長、密教資料研究所長、真言宗京都学園理事などを歴任し、平成2年には日本密教学会の密教学芸賞を受賞されている。また、日本密教学会理事のほか、高野山大学でも非常勤講師、高野山真言宗内においても阿字観伝授阿闍梨・国際交流センター専門委員等も務めている。今回の記念論文集には、山崎教授と縁のある諸分野の権威の執筆陣が寄稿している。(永田文昌堂、25,000円+税)

☒種智院大学仏教福祉学会創設及び『仏教福祉学』創刊について

種智院大学におきましては、仏教福祉学科新設に伴い、「種智院大学仏教福祉学会」を創設いたしました。本会は、仏教福祉並びに社会福祉に関する研究とその普及とをもって目的としております。

この度、研究機関誌である『仏教福祉学』を創刊いたしましたので、できるだけ多くの方にご購読していただきたくご案内申し上げます。

仏教福祉学会の年会費は3,000円です。特に仏教福祉学コースの卒業生の方は、こぞってご入会下さい。



詳しくは種智院大学仏教福祉学合同研究室(075-604-5604)までお問い合わせ下さい。

『仏教福祉学』創刊号内容

1. 知的障害者にとって「福祉」はノーマライゼーションの方向を向いているか(宮崎 隆太郎)
2. 看護の機能と役割(川本 昌子)
3. 仏教福祉研究の前提に関する覚書(池田和彦)
4. 国民健康保険制度における「相互扶助」論について(木村 敦)
5. 日本古代における救済の問題ノート(1) 賑給(その1)(佐伯 俊源)
6. 児童福祉法「改正」による保育所入所制度の問題点(芦田 麗子)
7. 密教経典における仏教福祉(中島 小乃美)
8. 仏教看護(ビハーラ)における現代的意義についての一考察(平成10年度卒業論文優秀賞受賞・小坂田隆央)

人◆事◆異◆動

平成11年度に入り、本年も人事異動がありました。退任された方がたには長年にわたり本学のためにご尽力賜り本当に有り難うございました。また、新任でおこしいただいた教職員の皆様のご紹介をいたします。

退任	岩見恭子(特任教授)	3月31日付
	西堀 潔(就職担当)	9月30日付
新任	川本昌子(教授)	4月1日付
	山崎俊生(特任教授)	々
	橋本哲夫(助教授)	々
	向井啓二(専任講師)	々
	川崎明仁(専任講師)	々
	芦田麗子(仏教福祉学科助手)	々
	杉野文篤(事務次長)	1月1日付
	古川洋一(就職担当)	10月1日付
昇任	北尾隆心(助教授)	4月1日付
	池田和彦(助教授)	々

● 学生だより ●

平成11年度降誕会

降誕会実行委員長 遠藤 大介

まず、遅ればせながら平成11年度の種智院大学弘法大師・興教大師降誕会が無事成満できましたことをご報告申し上げます。各本山をはじめ、多大なご支援・ご指導をいただきました同窓会の会員その他の皆様、誠にありがとうございました。本年度の降誕会は、梅雨にもかかわらず晴天に恵まれ、厳粛かつ盛大に執り行われました。法要には、約120名にも及ぶ本学学生の参加があり「令法久住一物の興廃は必ず人による。人の昇沈は定めて道にあり」というテーマのもと、一致団結して成功をおさめることができました。とりわけ、今回は母校が向島キャンパスに移転し、第一回日の記念すべき行事であり、不安と戸惑いの中、もう一度本学の原点である綜芸種智院を創設された弘法大師の精神を見つめなおすべく、日々精進してまいりました。今年も、古義・智山・豊山合同の法要ということで、日頃経験のできない恵まれた環境を作り上げることができましたのは、ご指導いただきました先生方のご協力の賜物と心より感謝しております

宗教部長の山崎泰廣先生をはじめ、潮弘憲先生、添野智讓先生、孤嶋由昌先生、新井弘順先生、倉松隆観先生、中野泰倫先生等には、講義終了後骨身を惜しまず所作や声明をご指導いただきました。法要の練習は、例年通り約2ヵ月前から取り組みましたが、今年は向島キャンパスへ移転したためにこれまで行っていた東寺御影堂への行道が不可能となりました。本学は、今年度より仏教福祉学科が新設され、現代の最重要課題とも言える福祉教育に力を注いでおります。そこで本年度は、本学の近所にある特別養護老人ホーム桃寿苑、ケアハウス向島両施設のお年寄りを訪ね行道し、花御堂を中心に御法楽を捧げ、健康祈願いたしました。このことは、今年の大きな収穫であったと思います。

午後からは、記念講演といたしまして本学の教授の山崎泰廣先生を講師にむかえ、「命の蘇る理趣経」という演題でご講演を頂戴いたしました。学外からも多数の方々がお見えになられ、大変有意義な時間になったのではないかと考えております。一時間という短い時間ではありましたが、熱

心にお話くださる先生の一言一句にうなずきながら耳を傾ける来場者には、何にもまさる時間だったのではないのでしょうか。

つづいて本学の豊山派ぼたん会の有志により、弘法大師の降誕会にちなみ、若き日の大師ご自身のお姿を描いた「三教指帰」を新作戯曲説法として披露していただきました。

今回降誕会実行委員として企画、実行すべてに携わり、我われ学生が自分たちの持てる力のすべてを尽くし、精進して参ったことは、普段一般の学生生活の中では、めぐり合えない機会であったと思います。

また、現在実行委員会の方では、12月15日に、大恩教主釈迦牟尼如来を追慕すべく、涅槃講による常楽会を計画しております。

21世紀という新しい時代の幕開けを目前にした今、仏教徒である我われは、時間・国境を超え守り継がれてきた仏法を、もう一度見直し、後世に伝えなければならないという思いで、「護持遺法」というテーマを掲げました。

今後、常楽会にむけ、実行委員会並びに学生一同は、下記のとおり法要並びに記念行事を計画し、無事成満できるよう精進しておりますので、ご多用のこととは存じますが、皆様お越しいたさますよう、心よりお待ち申し上げます。

(常楽会法要・記念行事予定)

平成11年12月15日(水)

種智院大学向島キャンパス

法 要：午前9時30分より

記念講演：午後2時より

講師 佐伯俊源専任講師

(演題未定)

戯曲説法：午後3時より

上演 ぼたん会(演目検討中)

その他抹茶の接待等

(※ 時間等につきましては、若干
変更することもあります)

会員消息

お慶び

- 山田本然様 (種智院大学 昭60)
岡山県矢掛町 宝泉寺
平成11年6月6日ご結婚
- 岡村 智様 (種智院大学 平9)
香川県大内町
平成11年9月19日ご結婚

訃報

- 新宅教明師 (京都専門学校 昭14)
平成10年2月4日ご逝去
広島県呉市 万年寺住職
- 宇賀哲也師 (京都専門学校 昭22)
平成10年12月29日ご逝去
三重県桑名市 大福田寺住職
- 亀田隆基 (京都専門学校 昭7)
平成11年1月17日ご逝去
兵庫県播磨町 圓満寺住職
- 加納瑞敬師 (種智院大学 昭49)
平成11年3月19日ご逝去
大阪府堺市

- 新見晃正師 (種智院大学 平6)
平成11年4月15日ご逝去
岡山県倉敷市 持宝院副住職
- 木村善匡師 (京都専門学校 昭12)
平成11年4月22日ご逝去
香川県大内町 円光寺住職
- 廣瀬昌史氏 (種智院大学 平4)
平成11年5月14日ご逝去
埼玉県川越市
- 高井隆秀師 (種智院大学名誉教授)
平成11年5月18日ご逝去
京都市上京区 上品廻台寺前住職
- 北川亮暁師 (京都専門学校 昭23)
平成11年7月8日ご逝去
京都市西京区 三宮寺住職
- 山本純一師 (種智院大学 昭38)
平成11年8月1日ご逝去
山口県柳井市 金剛寺住職
- 前田章博師 (種智院大学 昭57)
平成11年8月3日ご逝去
広島県福山市
- 尾池知定師 (京都専門学校 昭24)
平成11年8月15日ご逝去
京都府京北町 宝泉寺住職

種智院大学 福祉連続公開講座

種智院大学のキャンパスが向島に移転して、早や半年が過ぎました。

ひろびろとした田畑に囲まれ、そのゆったりとした雰囲気の中で、やっと、大学も落ち着きを取り戻してきたようです。

さて、このたび、本学では、下記のような公開講座を開催することにいたしました。今回は「福祉」をテーマにして計画を立てました。

新しいキャンパスの見学を兼ねて、ぜひとも足をお運びくださいますよう、ご案内させていただきます。

時 間／いずれも13:00～15:00
会 場／種智院大学 向島キャンパス
近鉄京都線向島駅下車 徒歩約10分
※聴講料無料・事前申込不要

◇ 11月6日(土) 種智院大学教授 宮崎隆太郎

「子どもは変わったのか—子どもとのつきあいにくさを考える—」

昔にくらべて、昨今の子どもはすっかり変わってしまったと言われます。「得体が知れない」「宇宙人のよう」とまで言う人もいます。はたしてそうなのでしょう。そのようにやりにくくなった子どもと関係を取り戻す方法はないのでしょうか。ちょっと違う視点から考えてみようと思っています。

◇ 11月13日(土) 種智院大学助教授 池田 和彦

「ブームで終わらせたくない社会福祉」

昨今、社会福祉はマスコミなどでも大きくとりあげられ、多くの国民の関心を集めているようにみえます。しかし、そのことがただちに、社会福祉についての正確な理解の広がりを意味するものなのかどうかは、あらためて問いなおしてみる必要があります。社会福祉を一時のブームで終わらせないために。

◇ 11月27日(土) 種智院大学教授 川本 昌子

「これだけは知っておきたい介護の基本—観察を中心に—」

介護は人のお世話をする事です。上手にお世話をするためには、上手に観察できることが大切です。今回は基本的な観察技術を中心にお話ししますが、体位変換技術の簡単なものも見ていただきたいと考えています。

◇ 12月11日(土) 種智院大学講師 木村 敦

「わが国で『社会保障』は成り立っているのか」

年金制度、医療保険など、わたしたちの生活を社会的に支えているしくみが社会保障制度です。ヨーロッパではじまったこれらの制度は、そもそもなぜ必要になったのでしょうか。そして日本にそれは根づいているのでしょうか。簡単な歴史を追いながら考えてみたいと思います。

◇ 1月8日(土) 種智院大学講師 佐伯 俊源

「仏教の立場で考える『臓器移植』」

97年臓器移植法の制定、本年4月国内初の脳死臓器移植手術とその後の各地での実施……。従来タブー視された臓器移植も今後は急速に一般化してゆくでしょう。しかし問題が全て解決したわけではありません。議論百出の中、仏教の生命観を軸にいかなる問題点が提示されるのか、一緒に考えてみましょう。

◇ 1月22日(土) 老人保健施設 桃源の郷施設長 精神科医 小澤 勲

「現場から見た『介護保険』」

2000年4月から介護保険制度がスタートします。その概要をお話しし、なぜこのような制度が今、始まるのか、その背景を探ります。さらに、この制度の得失を現場の眼から報告し、これからの高齢者介護のあり方を痴呆老人のケアを中心に考えてみようと思っています。

◇ 2月5日(土) 種智院大学教授 所 久雄

「障害者福祉のこれから」

介護保険が実施される2000年4月を契機に、社会福祉基礎構造改革が行われようとしている。障害者福祉領域にあっては、その改革の中心理念は自立生活の尊重ということである。そのために地域生活を支援する地域福祉の充実をはかるといふ。現行の措置制度が本人への支援費支給方式に変更されるという。そこで、将来的に起こってくる変化を考えてみたい。

『種智院大学講堂の本尊及び仏具等寄付金』 勸募状況速報

平成11年10月25日現在 (単位：円)

地区支部名	同窓生数	申込数	入金総額	達成率(%)
北海道	13	2	100,000	15.38
東北 (福島・宮城・岩手・秋田・山形・青森)	25	4	80,000	16.00
関東・甲信 (東京・埼玉・千葉・茨城・群馬・栃木・山梨・長野)	62	17	960,000	27.42
神奈川	25	4	480,000	16.00
北陸 (新潟・富山・石川・福井)	42	5	370,000	11.90
東海 (静岡・愛知・岐阜・三重)	96	13	300,000	13.54
滋賀	49	8	430,000	16.33
京都	263	30	1,930,000	11.41
大阪	249	23	970,000	9.24
兵庫	184	39	4,810,000	21.20
奈良	101	12	280,000	11.88
和歌山	14	3	70,000	21.43
岡山・鳥取	88	29	1,330,000	32.95
西中国 (広島・山口・島根)	67	26	2,690,000	38.81
徳島	33	9	250,000	27.27
香川	34	10	1,150,000	29.41
愛媛・高知	22	6	370,000	27.27
九州 (福岡・大分・宮崎・佐賀・長崎・熊本・鹿児島・沖縄)	62	10	390,000	16.13
合計	1,429	250	16,960,000	17.49

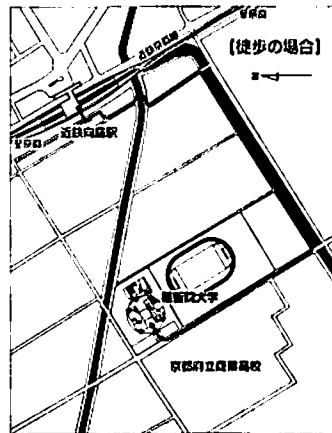
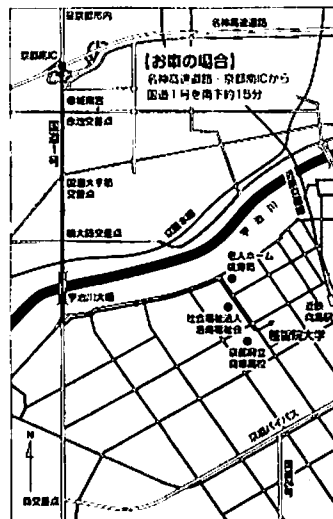
種智院大学講堂の本尊及び仏具等寄付金の勸募につきまして、表のとおり会員の皆様からご寄付が寄せられております。心より感謝申し上げます。なお、目標の額まであと一息、皆様のあたたかいお志をお待ちいたしております。

郵便振替口座：00920-1-20456

口座名：種智院大学同窓会

(一口10,000円 三口以上希望)

向島キャンパス



【交通機関】
 京都市営地下鉄向島駅下車(徒歩電車の10分)・徒歩約10分
種智院大学
 〒612-8188 京都市伏見区西淀川70番地
 TEL 075-604-8600(代) FAX 075-604-8610